

## ニュースまとめ ジャンケンポン

さいきん  
最近のニュースをまとめたよ。  
どんなことがあったかな？

11月8日～11月14日

せ かい おお うご  
世界で大きな動きがあったよべいだいとうりょうせん  
米大統領選、バイデンさん勝利国民に向けて力強く勝利  
演説をするジョー・バイ  
デンさん。7日、アメリ  
カ・デラウェア州  
ATP時事

3日に投票が行われたアメリカ(米国)大統領選挙は、民主党候補のジョー・バイデンさん(77歳)が各州の選挙人(計538人)の過半数をこえる306人を得て、勝利を確実としました。現職の大統領で共和党候補のドナルド・トランプさん(74歳)は、開票に不正があったなどと主張し、敗北を認めていません。

副大統領候補にはカマラ・ハリス上院議

いん きい し せい ほつ じょせい こくじん  
員(56歳)を指名。初の女性、黒人、アジア系の副大統領となる見こみです。

ホンコン 民主派議員の資格取り消し



中国の全国人民代表大会の常務委員会では11日、香港の立法会(議会)議員の資格を取り消す権限を、香港政府にあた

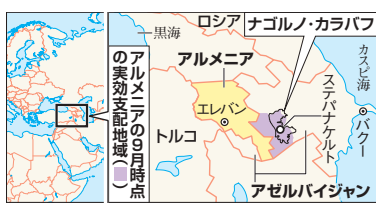
えると決めました。これを受けて香港政府は、民主派の議員4人の資格を取り消すと宣告しました。4人は、6月に制定された香港国家安全維持法に反対していました。

政府の動きをチェックする議会の役割がはたせず、三権分立が後退するおそれがあります。



ナゴルノ「完全停戦」に合意

アルメニアが実効支配する、アゼルバイジャンのナゴルノ・カラバフ地域で約1か月半、紛争が続いていま

攻撃でこわされた  
小中学校の教室

この戦いを完全にとめる停戦合意が10日、ロシアが間に入り、発効しました。

両国は1991年に独立するまでソビエト連邦(ソ連、今のロシア)の一部でした。ナゴルノ・カラバフはアゼルバイジャンにありますが、住民の多くはアルメニアと同じ民族で、ソ連がなくなるときに独立を求めて、戦争になりました。この戦争で約3万人が亡くなり、94年に停戦合意しました。



コロナが早く終息するといいね



1日の感染者1700人こえ最多



新型コロナウイルスの国内感染者が13日、新たに1704人確認されました。1日あたりの感染者数は8月7日の1607人をこえ、12日(1662人)に続いて過去最多を更新しました。「第2波」のときには若い世代が感染者の多くをしめる傾向がありましたが、最近では重症になる可能性が高いとされる高齢者の割合が増えるきざしがみられます。

また、アメリカ(米国)のジョンズ・ホプキンス大学の集計によると、世界全体の感染者は9日、5千万人をこえました。14日正午の段階で、約5331万人に上っています。感染者数は米国が最多ですが、感染をいったんおさえこんだはずのヨーロッパが感染拡大の第2波におそわれています。



ワクチンの効果「90%以上」



アメリカ(米国)の製薬大手ファイザーは9日、開発中の新型コロナウイルスのワクチンについて、「90%以上の予防効果があった」と発表しました。最終の臨床試験(治験)の初期結果です。年内にも米国の一部で接種が始まる可能性があります。

日本政府はファイザーから、来年6月末までに6千万人分のワクチンを手に入れることにしています。

新型コロナのワクチンの治験に参加する人＝8月、米国  
AFP時事かんそく ほうほう か  
観測の方法も変わっていくんだねなが ほし まいにち  
流れ星、毎日1トン降りそそぐ東京大学の望遠鏡が  
収まるドーム＝長野  
県木曽町 ©朝日新聞社

流れ星として宇宙から降りそそぐチリの量が、地球全体で毎日1トンほどにのぼるとみられることが明らかになりました。

滋賀県甲賀市にある京都大学のレーダーと、長野県木曽町にある東京大学の望遠鏡が2018年4月に流れ星を同時観測し、データを解析してわかりました。重さが0.01ミリグラム～1グラムといった小さなチリの量を、初めて見積もることができたとい

きしょうよう い もの かんそく  
気象庁、生き物の観測やめる初めて見た日を観測  
してきたアキアカネ  
©朝日新聞社

気象庁は、トンボやウグイスなどの23種目について、職員がその年に初めて見たり、鳴き声を聞いたりした日の観測を年内で取りやめます。季節の進み具合や気候の変化を見るために、1953年から記録していました。地球温暖化などで環境が変わり、気象台の近くで見つけることが難しくなった生き物が増えたためだとい



■ 秋篠宮さま 「立皇嗣の礼」

立皇嗣の礼に臨む秋篠宮  
さまと紀子さま＝8日、  
皇居 代表撮影

秋篠宮さまが天皇陛下の次に、天皇の位を継ぐ立場「皇嗣」になったことを宣言する「立皇嗣の礼」が8日、皇居で行われました。憲政史上初めての儀式です。4月の予定が、新型コロナウイルスの感染拡大で延期されていました。

儀式には、皇族方や、菅義偉首相ら約50人が参列。秋篠宮さまは「皇嗣としての責務に深く思いをいたし、務めを果たしてまいりたく存じます」と決意を表明しました。

■ 女川原発再稼働へ 地元が同意



2011年の東北大震災で被災した東北電力の女川原子力発電所2号機について、地元の宮城県の村井嘉浩知事は11日、再稼働の前提となる地元同意を表明しました。震災で被災した原発の再稼働に地元が同意するのは初めて。早ければ23年に再稼働できるとしています。

女川原発は震災時、13メートルの津波におそわれました。標高29メートルの防潮堤を建設するといった対策を立てたことで、今年、原子力規制委員会の新しい規制基準に適合すると認められました。

■ 小柴昌俊さん亡くなる



2002年にノーベル物理学賞を受賞した東京大学特別栄誉教授の小柴昌俊さんが12日、亡くなりました。94歳でした。

岐阜県の神岡鉱山の地下に巨大な観測装置「カミオカンデ」を設置。物質のもとになる素粒子の一つで、超新星爆発にともなって放出される「ニュートリノ」の観測に1987年、世界で初めて成功しました。

研究の後輩たちには「いつも心に夢の卵を持ちなさい」と語りかけていました。

ノーベル賞受賞者の小柴昌俊さん  
＝2006年10月  
©朝日新聞社